
山か海か

柳 すすたけ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

山か海か

【Nコード】

N6682T

【作者名】

柳 すすたけ

【あらすじ】

女二人が男をめぐって言い争っているうちに、一人の女がもう一人の女を殺してしまった。現場にいた男と殺してしまった女は、死体の捨て場所をめくり言い争う。

ショートコント用の戯曲です。実際に演じると3分あるかないか位です。

「『小説』家になろう」なのに脚本をアップする無謀ぶり（笑）

あなたも役者になったつもりで読んでみませんか？

(前書き)

あらすじに書いたとおり、ショートコント用の戯曲なので、小説とは全然文章が違うと思います。

携帯電話からごらんのお客様には見難いかと思いますが、あらかじめご了承くださいませ。

登場人物は男と女1、女2の三人。

便宜上ここでは『男』と表記するが、実際には演者の名前を入れて呼んで頂きたい。

男と女1、2が舞台中央に板付き。明かりと同時に女1、2が言い争いを始める。

女1 「ちょっと、あなた、『男』と別れなさいよ!!」

女2 「アンタこそ彼と別れなさいよ!!」

女1 「私は彼にプロポーズされたのよ!!」

女2 「私だって『男』に結婚しようって言われたの!!」

女1 「うるさいっ!!」

女1、女2に殴りかかる。女2倒れる。

男 「おい。まずいんじゃないのか？」

女1 「嘘!?死んでないわよね？」

男・女1が女2の生死を確認する。

男 「死んでる」

女1 「ちょっとこのくらいで死なないでよ!生き返りなさい

男 「仕方ない。海に捨てに行こう」

男、女2を引きずる。

女1 「ちょっと、海なんてだめよ」

女1、男と反対側をもって引っ張り止める。
この後しばらくは引っ張り合いになる。

男 「じゃ何処に捨てるんだよ」

女1 「山に埋めるわ」

男 「埋めたって時期に見つかつちまうだろう」

女1 「海だつて海流で戻ってくるかもしれないでしょ？」

男 「いやいや、錘を付ければ沈んだままだつて」

女1 「誰かが潜つて発見したらどうするのよ。やっぱり山が安全だわ」

男 「山は野生の動物が臭いに気付いて掘り返すかもしれないだろう？だからダメだ」

女1 「深く掘つて埋めれば大丈夫よ」

男 「ニュースでも山の死体はすぐに発見されてるだろう？

沖合いで捨てれば見つからない」

女1 「沖合いまで運んでるうちに見つかつてしまつわ」

男 「じゃあどうするんだよ」

女1 「そんなのわからないわよ」

男、女1同時に女2から手を離す。

女1 「考えても埒が明かないわ。やっぱり山に埋めるわ」

女1、女2を担ぐ。

男 「いや、海だ」

男、反対側から女2を担ぐ。

女1 「山よ」
男 「海だ」
女1 「山」
男 「海」
女1 「山」
男 「海」
女2 「だあゝ！！痛いっつの」

女2、引つ張られていた両腕を男と女1から振りきる。

女2 「アンタたちさつきから一体なんなの？海だの山だの。決められないなら私一人で行くわ」

女2、上手に退場。

男、女1、舞台に取り残される。暗転。

(後書き)

ということ、いかがだったでしょうか？

正直、大変ドキドキしております。が。需要がなくなっただけいいんです。私を書きたかったの(ヲイ)

初の試みにお付き合い下さり、ありがとうございました。
あなたの心の深さに感謝いたします。

柳 すすたけ：拝

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6682t/>

山か海か

2011年6月7日14時13分発行